

学園通りのけやきの木も、きれいに色づいています。来月は櫛祭ですね。図書室でも、研究展示のテーマに関連する書籍を並べています！ ぜひアイデアを探しに来てください。



1. 2020 年度 6～9 月までの貸出数

学年	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
6～8月	66	0	10	12	3	11	102
9月	167	20	66	72	17	100	442
今年度累計	233	20	76	84	20	111	544

分散登校の時期は、昼休みに予約資料のみ貸出を行っていました。6～9月の個人貸出数ランキングは、1位 56冊（中1-2）、2位 15冊（中3-2）、3位 12冊（中3-2、高3-3）、5位 11冊（中1-3）、6位 9冊（中1-1）です。中1の貸出が多いです！ なお、個人情報保護の観点から、名前は公表していません。

2. 朝読書がはじまります！

11月2日（月）から「朝読書」の期間が始まります。朝の10分間を読書の時間にあて、その後の時程が全て10分ずつ後ろにずれます。中学1年生にとっては初めての朝読書ですね。朝のわずかな時間でも、集中して本に向かうと、その日一日の集中力が増すといいです。文化祭前の慌ただしい毎日だと思いますが、ぜひ読書に親しんでください。

図書室では以下を実施中です。

- 新着本をたくさん出しました！（小説もたくさん入っています！）
- 2日（月）から、中2が書いてくれた「おすすめ本」の優秀作を掲示します！
- 図書委員が作ってくれた、かわいい「しおり」が置いてあります！



朝読書の日、読む本を、忘れずに持ってきてくださいね。できれば事前に図書室で借りておいてもらえると嬉しいですが、学級文庫にもおもしろいものが揃っているので、そちらもおすすめです。

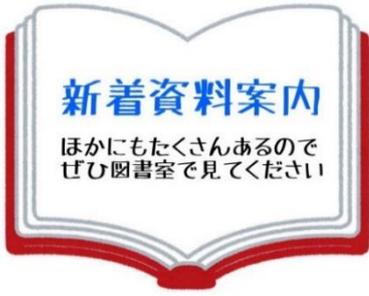
3. 文化祭期間の図書室開館について

11月12日（木）～11月14日（土）まで、図書室は閉室です。文化祭のために調べたいことがある場合でも、利用はできません（館内のパソコンも使えません）。

貸出、あるいはコピーを取りたい資料がある場合は、文化祭期間より前の利用をお願いします。

※特に高校3年生は、注意してください。

裏面では新着本の中からおすすめを紹介しています。



[『午前0時のラジオ局』 村山仁志 PHP 研究所
\(913.6/Mu62\)](#)

新米アナウンサーの優の異動先は、古い洋館の中にあるラジオ局。はじめてのラジオの世界に、不安を覚えながらも準備をすすめていたところ、突然の大雨による災害情報の伝達という大仕事が舞い込んできた。ここに引き寄せられたのは、運命なのか。現役アナウンサーによる、リアルなラジオの現場。これまでなじみのなかった人も、ラジオの魅力に目覚めるかもしれません。実のお姉さんが、作家の村山早紀さんだということを、あとがきを読んで知りました。



[『ポジティブ病の国、アメリカ』 バーバラ・エーレンライク
河出書房新社 \(361.42/E36\)](#)

「ポジティブに考えれば、病気も治る」「ポジティブに考えれば、お金持ちになれる」「ポジティブに考えれば、夢も叶う」「ネガティブに考えるのは、不健康で、良くないこと」。アメリカだけでなく、日本でも良いことだと考えられているポジティブ・シンキング。何でも楽観的に捉えることの危険性を訴える一冊です。アメリカ人がなぜポジティブなのかという点についても、歴史的な観点から分析されています。



[『稲川淳二の怖いほど人の心をつかむ話し方 心に残る、響く、
愛されるための38の方法』 稲川淳二 ユサブル \(809.2/I52\)](#)

これは、怪談を話すためのテクニックの解説本ではありません。さまざまな場面において、活用できます。上手な話し方、という小手先の技術ではなく、結局は「聴く力」が大事なのだと教えてくれます。飾らない自分を率直に、真摯な態度で語るほうが、人は惹きつけられるのだそうです。また、面倒くさい人の相手をするときの対処法も載っています。

[『『BIBLIOPHILE』 Jane Mount 著 CHRONICLE BOOKS \(020.4/Mo37\)』](#)

タイトルの意味は「愛書家」。本が好き、本屋さんが好きという著者の「好き」がぎゅっと詰まった1冊です。「勇敢なヒロインの物語」「近未来の夢と悪夢」などのテーマによるセレクト本のリスト、人気の書店・図書館の紹介や、読んだ人ならわかるクイズ、本に関わる人や動物についてなど、どこから読んでも楽しめます。そしてぜひ見てほしいのが、イラストレーターでもある著者によるカラフルな挿絵です。特に、登場する全ての本の表紙や背表紙を細かく描いているあたりからも、「好き！」が伝わってくるように感じました。こちらは英語の本ですが、翻訳された『世界の本好きたちが教えてくれた人生を変えた本と本屋さん』(020.4/Mo37)もありますので、一緒にどうぞ。



[『Born to dance』 Jordan Matter 著 Workman Publishing \(748/Ma94\)』](#)

ニューヨーク在住のダンス写真家による写真集です。被写体は、世界各地の子どもたち。日常の風景の中で思わず踊り出してしまっている姿を撮影しているのですが、それが奇妙な違和感を醸しだし、面白い写真集になっています。ずいぶん幼い子どもでも高く跳躍したり華麗にバランスをとったりをしています。けれども、撮影にトランポリンは使っていないそうです。どうやって撮影したのでしょうか。見ているだけで、跳んだり跳ねたり、体を伸ばしたりしたくなる人が現れそうな本です。

